

令和 3 年度
認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

令和 4 年 3 月
日野市健康福祉部高齢福祉課

【目次】

1. 事業の概要.....	1
（1）認知症高齢者の現状と令和3年度の基本方針	2
（2）事業概要.....	4
（3）運営体制.....	5
2. 取組みの内容.....	7
（1）認知症対策推進会議の開催	8
（2）認知症初期集中支援事業.....	9
（3）「認知症を知る月間」の開催	10
（4）専門部会の取組み	13
1）家族支援部会	13
2）市民啓発部会	15
3）多職種連携推進部会	17
（5）次年度の事業の方向性.....	19
【資料編】	21
（1）多職種連携推進部会.....	22
（2）認知症家族介護者交流会実施実績	35
（3）日野市の虐待受付状況.....	35
（4）日野市の徘徊対応状況.....	38
（5）認知症支援・虐待防止事業の取組み状況.....	40
（6）認知症を知る月間の広報物	41
（7）認知症サポーター養成講座 開催実績.....	45
（8）認知症サポーターステップアップ講座 開催実績	47

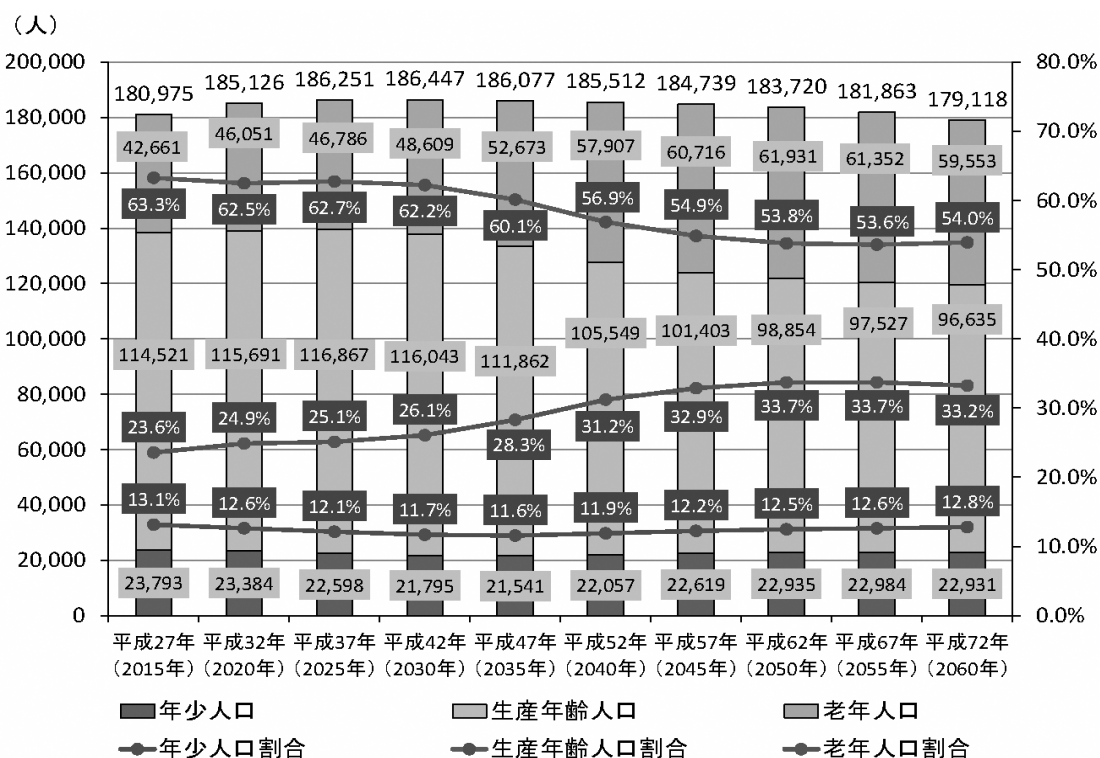
1. 事業の概要

(1) 認知症高齢者の現状と令和3年度の基本方針

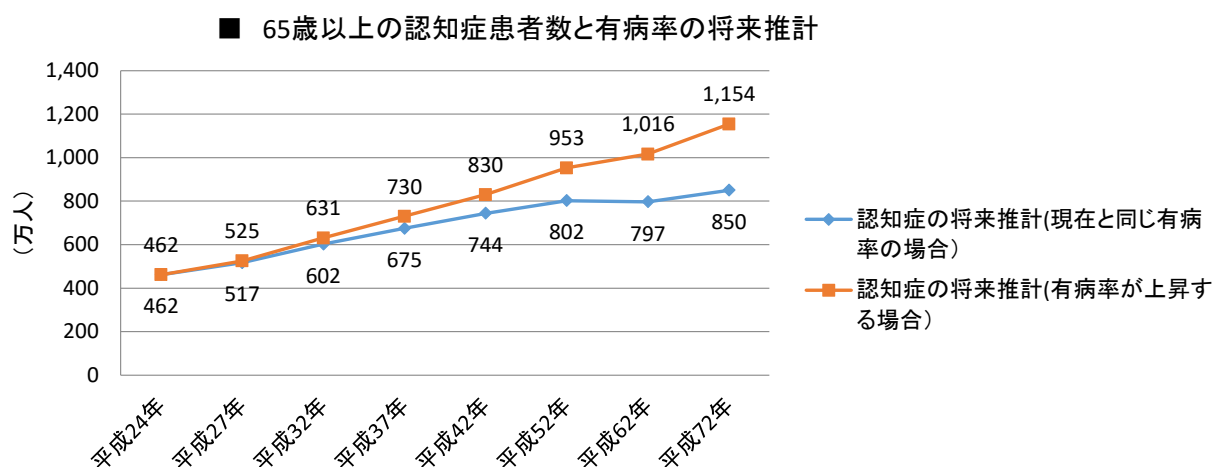
1) 認知症高齢者の現状

日野市の人口構成を見ると、高齢化率は上昇傾向です。平成 37 年（2025 年）で高齢化率は 25.1%、平成 52 年（2040 年）で 31.2%に達することが予測されます。

認知症高齢者数については、国における認知症患者の将来推計によれば、平成 24 年の 462 万人から、平成 37 年には現在と有病率が同じ場合で 675 万人、有病率も上昇する場合では 730 万人まで増加することが見込まれています。そのため、日野市でも認知症の患者数は今後も増加していくことが見込まれます。



出典：「日野市人口ビジョン」（平成 28 年 3 月）

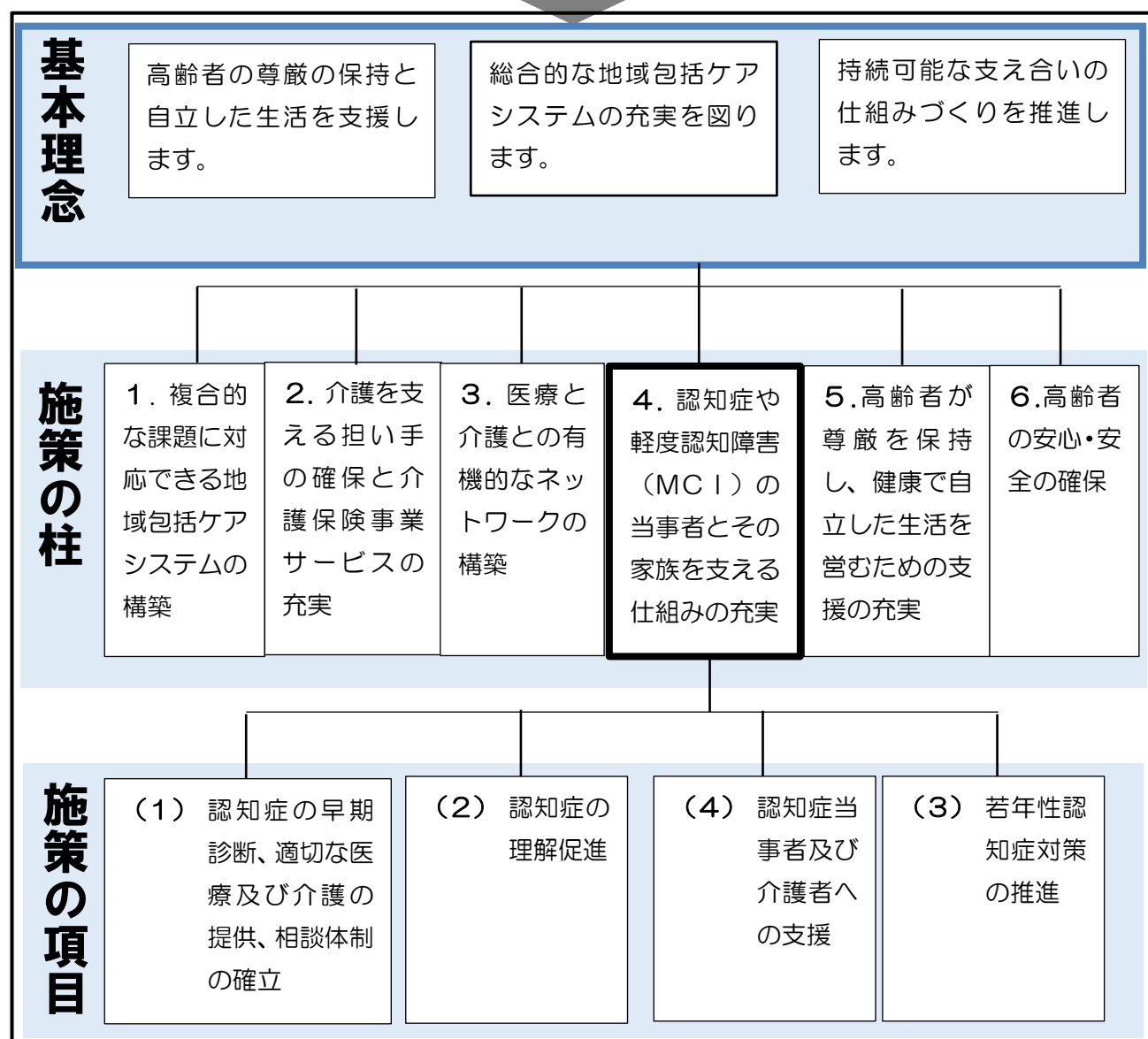


出典：平成 28 年高齢社会白書

2) 令和3年度の基本方針

日野市では、高齢者福祉・保健政策・高齢者の住宅政策の総合的な方針を、「第4期日野市高齢者福祉総合計画」として策定しています。認知症施策については、計画において、6つの施策の柱のうち1つに「認知症や軽度認知障害（MCI）の当事者とその家族を支える仕組みの充実」を定めており、認知症の相談、早期診断等総合的な支援体制の構築を図るとともに、地域全体で本人や家族介護者を支えていく体制の構築を目指しています。

目指すべき姿： いつまでも安心して 自分らしく暮らせるまち 日野
 （第4期日野市高齢者福祉総合計画）（令和3年度～令和5年度）



(2) 事業概要

本事業は、国の示す「認知症施策推進大綱」¹の5つの施策の柱²ならびに前述の第4期日野市高齢者福祉総合計画をふまえ、市民による支援の輪を広げるための取組み、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくり、認知症の人やその家族の視点やニーズを重視した取組みなど、幅広い事業展開をしています。令和3年度は、事業全体の運営方針を以下の6つに定めています。

【運営方針】

① 「3つの柱」による取組みの推進

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの柱を中心とした取組みを進めます。

② 「諸力融合」による地域づくり

本人・家族、地域、関係機関と連携を図り、協働で認知症の方にやさしい地域づくりを進めます。※チームオレンジ設置に向けた仕組みを整備します。

③ 関係機関とのネットワーク強化

認知症地域支援推進員、地域連携型認知症疾患医療センターとの連携を強化し、認知症検診、初期集中支援チーム等の活用を推進します。

④ 「認知症を知る月間」の開催

効率的かつ効果的に認知症を広く啓発するために、「認知症を知る月間」を開催します。

⑤ 若年性認知症に係るネットワークの構築

東京都多摩若年性認知症総合支援センターとSDGsの視点を生かした諸力融合の取組みを推進します。

⑥ 市内オレンジ広場の交流

市内で開催しているオレンジ広場同士のオンライン交流と医療連携型認知症カフェとの連携体制の構築を図ります。

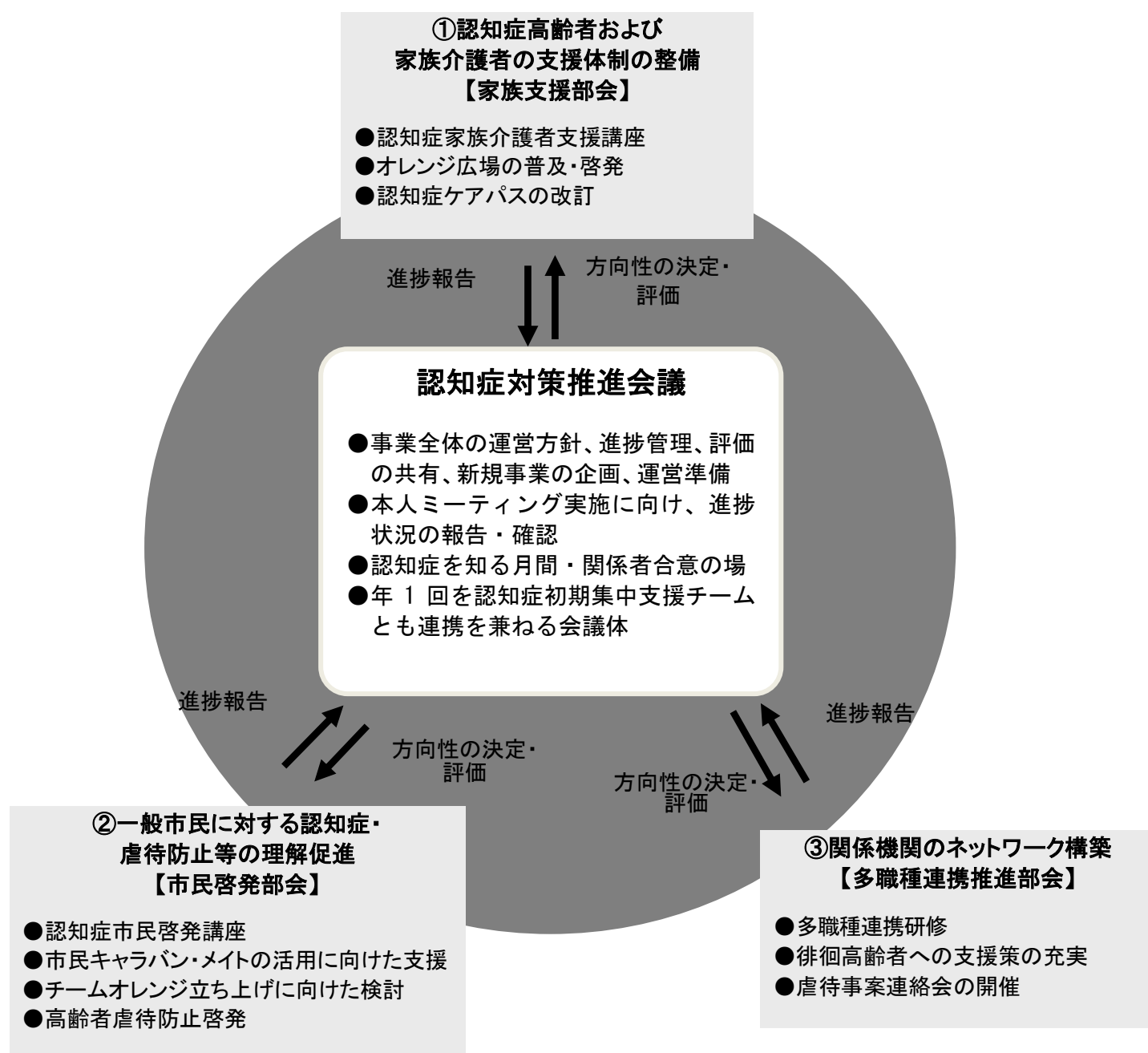
¹ 「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望と尊厳を持って日常生活を過ごせる社会の実現を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していく」（認知症施策推進関係閣僚会議「認知症施策推進大綱」厚生労働省, 2019.）

² 「1.普及啓発・本人発信支援」「2.予防」「3.医療・ケア・介護サービス・介護者への支援」「4.日賞バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援」「5.研究開発・産業促進・国際展開」

(3) 運営体制

「家族支援」「市民啓発」「多職種連携」の3つの分野ごとに専門部会を設置し、家族支援部会では「認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備」、市民啓発部会では「一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進」、多職種連携推進部会では、「関係機関のネットワーク構築」を取組みの柱とし、地域包括支援センター（認知症地域支援推進員）および地域連携型認知症疾患医療センター多摩平の森の病院と連携して、取組みを進めています。

(運営体制のイメージ図)



2. 取組みの内容

(1) 認知症対策推進会議の開催

1) 開催目的

本会議は、第4期日野市高齢者福祉総合計画に位置付けされている、認知症疾患医療センターを核とした認知症施策の検討及び医療サービスの提供、認知症初期集中支援チームによる早期発見・治療の推進、認知症地域支援推進員等による地域事情に即した認知症施策・事業・地域づくりの展開等の認知症施策を計画的かつ効果的に推進するための取組について、検討・企画・評価することを目的とした会議体です。

2) 開催概要・成果

本会議は、日野市高齢福祉課及び市内9か所の地域包括支援センターと認知症疾患医療センターである「多摩平の森の病院」に各1名ずつ配置している認知症地域支援推進員を基本的な構成員とし、2か月に1回開催しています。

令和3年度は、政府が発した「認知症施策推進大綱」に沿った理解を進めるとともに「認知症を知る月間」の開催等を中心に関係機関と連携し企画検討を図りました。また認知症初期集中支援チーム検討委員会では、事例を通し初期の段階の認知症の人に対する包括的・集中的支援の介入の重要性について共通理解を図りました。

3) 認知症対策推進会議開催実績

	開催日時等	主な議題
第1回	令和3年4月20日(火)	事業運営方針の確認 「認知症を知る月間」に関する意見交換
第2回	令和3年6月22日(火)	家族介護者交流会に関する情報交換 本人ミーティング査察報告 令和3年度「認知症を知る月間」について
第3回	令和3年8月24日(火)	令和3年度「認知症を知る月間」について 東京都多摩若年性認知症総合支援センターとの連携について
第4回	令和3年10月19日(火)	令和3年度「認知症を知る月間」振り返り 令和4年度「認知症を知る月間」企画
第5回	令和3年12月2日(火)	令和4年度「認知症を知る月間」について
第6回	令和3年12月21日(火)	認知症初期集中支援事業活動報告 認知症初期集中支援事業事例検討
第7回	令和4年2月22日(火)	令和3年度認知症事業取り組みの内容 令和4年認知症高齢者支援事業運営方針(案)について 令和4年度「認知症を知る月間」について

(2) 認知症初期集中支援事業

1) 実施目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業です。

2) 実施概要

初期集中支援チームは、平成29年7月に開院した多摩平の森の病院（地域連携型認知症疾患医療センター）に設置し、令和2年度より七生病院が追加され2チームとなりました。チームは、医師、認知症看護認定看護師、准看護師、介護福祉士（精神保健福祉士）による専門チームで組織されています。

認知症が疑われる方で、治療につながりにくい方、医療サービス・介護サービスを受けていない方、治療を中断してしまった方などを対象に初期集中支援チームが集中的に訪問支援等を行い、早期に医療や介護のサービスにつなげ、対象となる方が地域で安心して暮らし続けられるように支援を行いました。

3) 事業実績

認知症初期集中支援チーム実績（令和3年4月～令和4年3月）							
	相談件数	多摩平の森の病院	七生病院		訪問件数	多摩平の森の病院	七生病院
初回相談件数	8件	5件	3件	延件数	84件	58件	26件
延件数	11件	7件	4件				
主な相談内容 ・未受診、受療拒否など受診にかかわる相談・家族の介護負担等ケアに関わる相談・介護保険サービス拒否他							
終結の概要 支援対象者15件（令和2年度より継続含）のうち9件が終了。 6件については、次年度へ継続ケースとなっている。							

4) 事業評価

今年度相談を受けた支援対象者11人（令和2年度より継続含）に対し、延べ84回の訪問を行い、そのうち15件は、医療、介護サービス等につなげることができました。

認知症対策推進会議にて認知症初期集中支援チームの活動報告を行い、七生病院の事例を用いて、認知症地域支援推進員と今後の支援計画を検討しました。

(3) 「認知症を知る月間」の開催

1) 開催目的

日野市では、平成 26 年度から「認知症を知る月間」を開催しており、今年度で 8 回目となります。

第 3 期日野市高齢者福祉総合計画で重要なポイントの一つと整理されている「認知症の理解促進と地域全体で本人及び家族介護者を支える体制の充実」のために、認知症を知る月間で開催される様々なイベントを通して、認知症が決して他人事ではないということを広く市民に啓発し、認知症に対する知識と理解を深め、市民が認知症の人、市の認知症への取組みに関わるきっかけをつくることを目的としています。

また、認知症を知る月間の開催にあたり、4 つの要点を設定するとともに、主体的に「輪を創る」という目的を市民に浸透させていくために令和元年度に引き続き「わたしたちの行動で地域の輪を創ろう！」をサブタイトルとして掲げています。

要点

- ①本人、家族からのメッセージ（思い）を直接市民へ届け、認知症を身近に感じてもらう。
- ②本人、家族、専門職、市民の視点を取り入れ、諸力融合で認知症の啓発に取り組む。
- ③無関心層を含めた市民自ら認知症に関わるきっかけをつくる。
- ④認知症を知る月間以外の認知症に関する取組との波及・相乗効果を高める。

2) 開催内容・成果と課題

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出の影響により、市民の方に集まっていただくイベントの実施は断念しました。かわりに、オンラインにて、関係者による「市民啓発講座」を開催したほか、関係者による「RUN 伴+バトンリレー動画配信」、図書館での関連図書紹介のほか認知症についてのパネル展示を市役所1階、イオンモールにて行いました。

i) 認知症市民啓発講座（オレンジフェス）

開催日時	令和3年9月26日（日） 第一部 10:30～12:00 （開場 10:00） 第二部 13:30～15:00 （開場 13:00）	新オレンジ プラン
開催方法	ZOOM にてオンライン開催	I-② II V
開催内容	<第一部> 【若年性認知症の母と生きる ～大切な人が認知症になったらあなたはどうする～】 特別講演：岩佐まり氏 <第二部> 【「認知症は特別なものではない」を知るディスカッション】 ディスカッション登壇者 ・家族介護経験者：家弓氏、真野氏 ・認知症の支援者：林看護師（多摩平の森の病院） ・認知症と家族を繋ぐ人： 来島氏（特別養護老人ホームマザアス日野副施設長） ・コーディネーター：寺田達也氏（日野社会教育センター）	

ii) 各種イベント

●RUN 伴+ひの 2021 バトンリレー動画配信

開催日時	令和3年8月29日(日)～			新オレンジプラン
内 容	「地域全体で認知症の方を支えたい」というみんなの思いをつなげた YouTube 動画の作製。	主 催	RUN 伴ひの実行委員会	I-① V VII-①

●認知症についてのパネル展示

日 会 程 場	i) 9/1(水)～9/29(水) 市役所1F ii) 9/2(木) イオンモール2F 中央ブリッジ iii) 9/3(金)～9/30(木) イオンモール3F プティマイン前			新オレンジプラン
内 容	・認知症とは ・認知症の人への対応 ・日野市認知症検診のご案内 ・虐待防止 ・月間ポスター	主 催	日野市高齢福祉課	I-① V

(4) 専門部会の取組み

1) 家族支援部会

令和2年度からの課題

①認知症家族介護者支援講座の実施・協力

- ・家族介護者交流会の開催案内一覧を作成し、参加者の利便性をはかる

②オレンジ広場の普及・啓発

- ・オンライン開催に向け検討する。
- ・オレンジ広場の基準や医療連携型オレンジ広場「森の茶屋」とオレンジ広場の連携方法を検討する。
- ・オレンジ広場の基準(保留中)

③認知症ケアパスの改訂

- ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう、改定を行う。

令和3年度 取組み内容

令和3年度 取組みの柱

認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備

①認知症家族介護者支援講座の実施・協力

- 〔意図〕精神的な介護負担の軽減を図り、安心して介護を継続できている。
- 〔成果〕新型コロナウイルス感染予防のため、緊急事態宣言時は一時中止となった。実施時は感染対策を行い規模を縮小して実施した。

②オレンジ広場の普及・啓発

- 〔意図〕オレンジ広場等オンライン開催に向け検討する。オレンジ広場の基準や医療連携型認知症カフェとオレンジ広場の連携方法等を検討する。
- 〔成果〕オレンジ広場の基準を作成した（基準適応についてはコロナ禍のため保留。）

③認知症ケアパスの改訂

- 〔意図〕誰でも気軽に手に取れ、理解できるケアパスになるよう見直しを行う
- 〔成果〕令和3年度版認知症ケアパスを作成した。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和3年4月7日	R2年度の実施事項の確認・振り返りシートの作成
2	令和3年5月25日	認知症を知る月間に関する検討、認知症ケアパスについて
3	令和3年7月30日	認知症ケアパス改定の検討
4	令和3年10月1日	認知症ケアパス内容の検討
5	令和3年12月14日	当事者向け認知症ケアパスの検討、家族会一覧作成について、オレンジ広場について
6	令和4年1月18日	認知症ケアパスの修正
7	令和4年2月18日	認知症ケアパスの検討、R3 振り返り R4 方向性について

令和4年度に向けた課題

- ・オレンジ広場等オンライン開催に向け検討する。
- ・家族介護者交流会の開催案内一覧を作成し、参加者の利便性を図る。
- ・オレンジ広場の基準や医療連携型認知症カフェ「森の茶屋」とオレンジ広場の連携方法等を検討する。
- ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう、改訂を行う。

2) 市民啓発部会

令和2年度からの課題

- ① 認知症を知る月間において、コロナ禍であっても実行可能で、多くの市民がアクセスすることのできるイベントの仕立てを検討する。
- ② 全地域包括支援センターの生活圏域で市民キャラバン・メイトの活用を促進する。
- ③ チームオレンジの設置に向けてチームの具体的な仕組みやステップアップ研修の内容を検討する

令和3年度 取組み内容

令和3年度 取組みの柱

市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進

①認知症市民啓発講座の実施・協力(認知症を知る月間)

〔意図〕 広く市民が、認知症について関心を持て、理解を深めている。

〔成果〕 例年にならい、ポスター、リーフレットによる周知やパネル展示による啓発活動を行った。イベントについては Tree ホールから配信する形式でオンラインのみで開催した。イベントのアンケートによる評価では 4, 50代の現役世代参加が多く、オンライン開催の継続希望の意見などオンラインで開催することの効果認められた。

②市民キャラバン・メイトの育成

〔意図〕 市民キャラバン・メイトが認知症サポーター養成講座等に関わっている。

〔成果〕 認知症サポーター養成講座に関わる仕立てはできなかったが、キャラバン・メイト連絡会を開催し、チームオレンジの設置についての意見交換、検討を行った。

③チームオレンジ設置に向けた仕組みの検討

〔意図〕 認知症サポーターステップアップ研修が実施できる体制が整っている。

〔成果〕 チームオレンジを設置する予定団体への声掛けを行い内諾を得た。認知症サポーターステップアップ研修(「チームオレンジ研修」に改称。)で使用するテキストを作成した。

④高齢者虐待防止啓発

〔意図〕 高齢者虐待の正しい知識を得て、理解を深めている。

〔成果〕 認知症を知る月間の期間中、イオンモール多摩平の森にてパネル展示を実施した。

また、認知症を知る月間にて配布した認知症啓発リーフレットに高齢者虐待防止の内容を盛り込んだ。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和3年4月7日	スケジュール・取組み内容の確認/「認知症を知る月間」について/市民キャラバン・メイト連絡会について
2	令和3年5月25日	認知症を知る月間について/市民キャラバン・メイト連絡会について/チームオレンジについて
3	令和3年8月3日	認知症を知る月間について/.市民キャラバン・メイト連絡会振り返り/チームオレンジについて
4	令和3年10月5日	認知症を知る月間振り返り/チームオレンジについて
5	令和3年12月16日	チームオレンジについて
6	令和4年2月8日	チームオレンジについて/年間振り返り

令和4年度に向けた課題

- ① 認知症を知る月間において、コロナ禍であっても実行可能で、多くの市民がアクセスすることのできるイベントの仕立てを検討する。
- ② チームオレンジの年度内の設置に向けて具体的な仕組みや内容を検討するチームオレンジの設置に向けてチームの具体的な仕組みやステップアップ研修の内容を検討する。
- ③ 職域サポーターの拡大に向けて認知症サポーター養成講座の開催を検討する。

3) 多職種連携推進部会

令和2年度からの課題

- 多職種連携研修は、平成30年度に小売店で3社の参加で、物足りないものとなっているので、次にも小売店で開催してもいいのではと思われた。今後は、権利擁護や法律関係者を招き学びや警察・消防との連携について働きかけていく。
- 研修のアンケートでもあった虐待の早期発見の仕組み作りを目指し、市内事業所全体で共有するたたき台を作っていく。

令和3年度 取組み内容

令和3年度 取組みの柱 関係機関のネットワーク構築

①多職種連携研修

〔意図〕

- ・顔の見える関係ができていく・対応力が向上している

〔成果〕

- ・新型コロナウィルスの影響によりオンライン開催となったため、顔の見える関係づくりという目的を果たすことが難しかった。
- ・アンケート結果では、地域連携についてほとんどの参加者がその必要性を感じていた。また平成30年度に比べ、小売店側が認知症で支援を必要とする利用者への対応を意識しており、連携を取りやすい状況にあることがわかった。
- ・異なる立場から状況を共有することができ、参加した小売店が認知症サポーター養成講座の開催を検討するなどの成果につながっている。

②虐待対応にかかわる機関連携の推進

〔意図〕

- ・高齢者虐待における関係機関のネットワーク強化を図る
- ・虐待早期発見、対応スキル向上のためのツールを作成する

〔成果〕

- ・警察との虐待連絡会を開催し、情報共有することができた。
- ・早期発見に向けたツールの作成に向けて検討を始めることができた。

③職域サポーター要請に向けた検討

〔意図〕

- ・関係部署と相談しながら、企業への働きかけを計画する

〔成果〕

- ・R4年2月、日野自動車株式会社に対して、認知症サポーター養成講座を行った。
- ・多職種連携研修に参加した小売店の中にも、受講を検討したいと回答した企業が3店舗あった。今後声かけを行っていく。
- ・認知症サポーター養成講座受講済証のステッカーの作成を行った。

専門部会の開催実績		
回	開催日	主な議題
1	令和3年4月12日	評価シート作成/虐待事案連絡会について/今年度のスケジュールの確認
2	令和3年7月26日	虐待事案連絡会について
3	令和3年8月17日	虐待事案連絡会の開催
4	令和3年8月20日	虐待事案連絡会の振り返り/来年度以降の方針の検討/R2 年度多職種連携研修のまとめについて/職域サポーター養成について
5	令和3年10月11日	R2 年度多職種連携研修のまとめについて/今年度の多職種連携研修について/職域サポーターについて
6	令和3年12月16日	多職種連携研修について/「虐待通報ツール（仮）」について/職域サポーターについて（市民啓発部会と合同）/来年度以降の部会開催予定について
7	令和3年1月14日	多職種連携研修の開催
8	令和4年2月16日	多職種連携研修の振り返り/R3 年度の活動の振り返り/「虐待通報ツール（仮）」について

令和4年度に向けた課題

- ① 多職種連携研修は、コロナ禍でも顔の見える関係を築けるような工夫を行い、開催する。
- ② ケアマネジャーやサービス事業所が高齢者虐待の早期発見・相談がしやすくなるような案内のツールを作成を目指し、たたき台を作成する。

(5) 次年度の事業の方向性

令和3年度の認知症高齢者支援(高齢者虐待防止対策)事業について、「認知症になっても、本人とその家族が必要な支援を受け、その人らしく生きられる」という目指す姿の実現に向け、3つの専門部会ごとに方針を定め、全部で10の取組みを進めてきました。

令和4年度の方向性として、第4期日野市高齢者福祉総合計画(令和3年～令和5年)に基づき、認知症支援の体制に加えて、MCI(軽度認知障害)の当事者とその家族に対する支援を更に深化させた内容で各取組に取り入れることとしています。

■次年度の方向性

推進会議/部会	取組み	取組みの方向性
推進会議	1) 認知症関連事業全体の運営方針の決定と進捗管理、評価の共有 2) 認知症検診事業、初期集中支援事業の活用促進及び円滑な事業実施 3) 認知症を知る月間実施のための関係者の合意形成	・「認知症を知る月間」に関わる関係機関の合意形成が得られ、諸力融合の力で認知症の啓発に取り組む。 ・認知症検診事業の円滑な事業の実施のため、医療機関と市、地域包括支援センターとの連携を図る。 ・コロナ禍における外出自粛による認知症高齢者のフレイル予防の対策を検討する。 ・本人ミーティングの実施に向け検討する。
家族支援部会	1) 認知症家族介護者支援講座の実施・協力(認知症を知る月間) 2) オレンジ広場普及・啓発 3) 認知症ケアパスの改訂	・オレンジ広場の継続開催に向けて検討する。 ・家族介護者交流会の開催案内一覧を作成し、参加者の利便性を図る。 ・オレンジ広場の基準や医療連携型認知症カフェ「森の茶屋」とオレンジ広場の連携方法等を検討する。 ・認知症ケアパスがより効果的に機能するツールとなるよう、改訂を行う。
市民啓発部会	1) 認知症市民啓発講座の実施・協力(認知症を知る月間) 2) チームオレンジ設置に向けた検討 3) 職域サポーター養成に向けた検討 4) 高齢者虐待防止啓発	・認知症を知る月間において、コロナ禍であっても実行可能で、多くの市民が参加できるイベントの仕立てを検討する。 ・チームオレンジの設置に向けてチームの具体的な仕組みやステップアップ研修の内容を検討する。 ・職域サポーターの養成に向け、関係部署と相談しながら企業への働きかけを計画する。
多職種連携推進部会	1) 多職種連携研修 2) 虐待対応にかかわる機関連携の推進 3) 職域サポーター養成に向けた検討	・認知症および高齢者虐待に関する理解を深め、対応力を向上するため、多職種連携研修、高齢者虐待対応研修の開催を検討する。 ・職域サポーターの養成に向け、関係部署と相談しながら企業への働きかけを計画する。

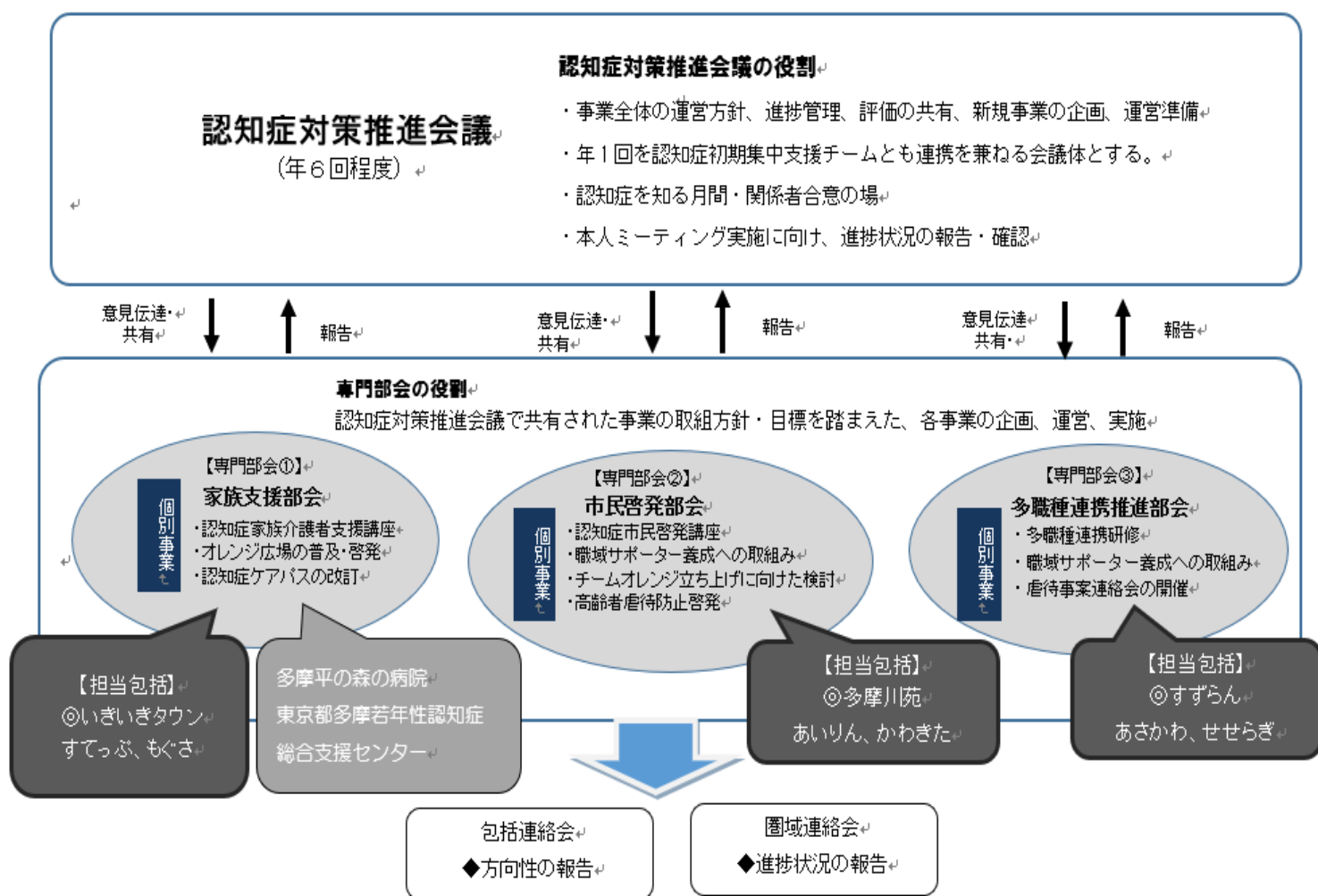
認知症を知る月間対象取組み

■次年度の運営体制

(1) 認知症対策推進会議＋部会制

認知症対策推進会議は、日野市の認知症施策を推進するための協議検討の場です。年6回程度の開催のうち、年2回を「認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業」の方向性の決定、評価にあてます。

(2) 構成員：各包括の認知症地域支援推進員、地域連携型認知症疾患医療センター 多摩平の病院専従相談員林看護師



【資料編】

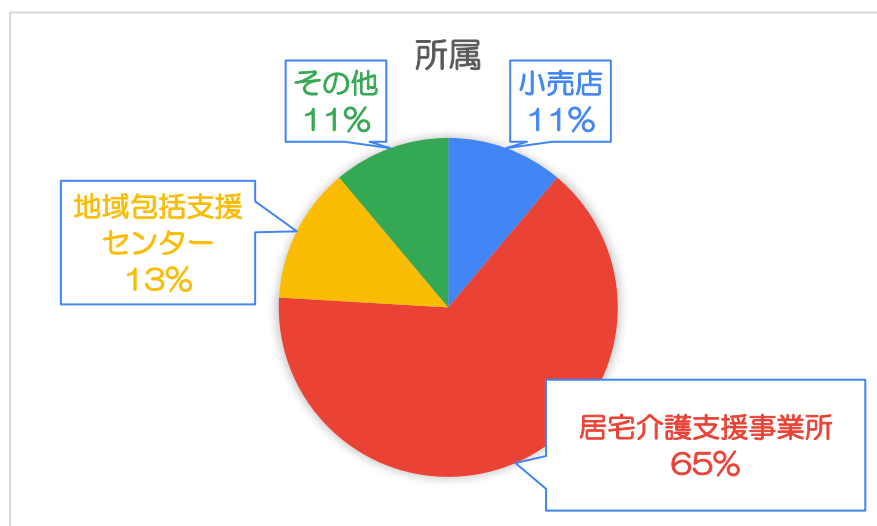
(1) 多職種連携推進部会

- テーマ：「認知症高齢者を支える地域の連携について」
- 開催日時：令和3年1月14日(金) 14:00~16:00
- 参加者：94人
(小売店8団体12人、多摩平の森の病院2人、日野警察1人、
東京都多摩若年性認知症総合支援センター1人、CM60人、行政5人、包括13人)
- アンケート回収数：54枚
- アンケート回収率：57%

○アンケート回答内容

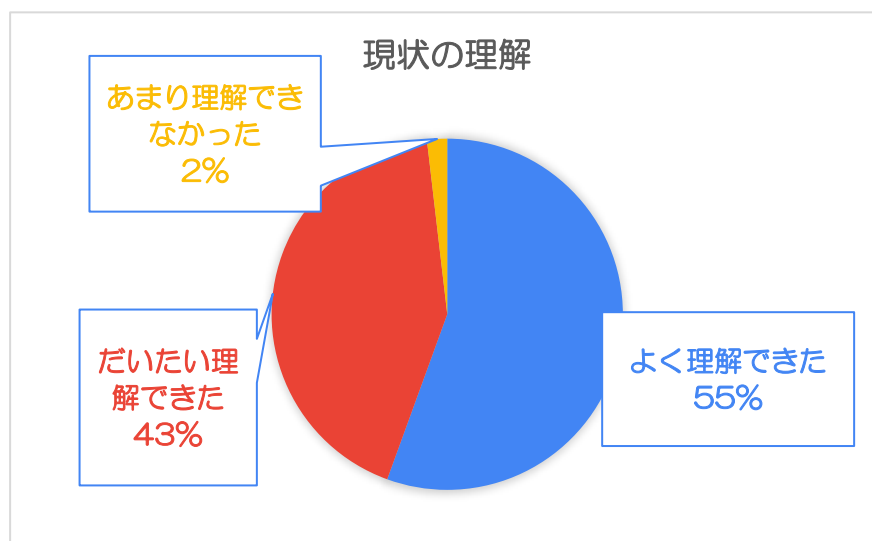
1.あなたの所属をお答えください。

小売店	居宅介護支援事業所	地域包括支援センター	その他	合計
6	35	7	6	54



2.認知症高齢者に関する市内の現状を理解できましたか。

よく理解できた	だいたい理解できた	あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった	合計
30	23	1	0	54

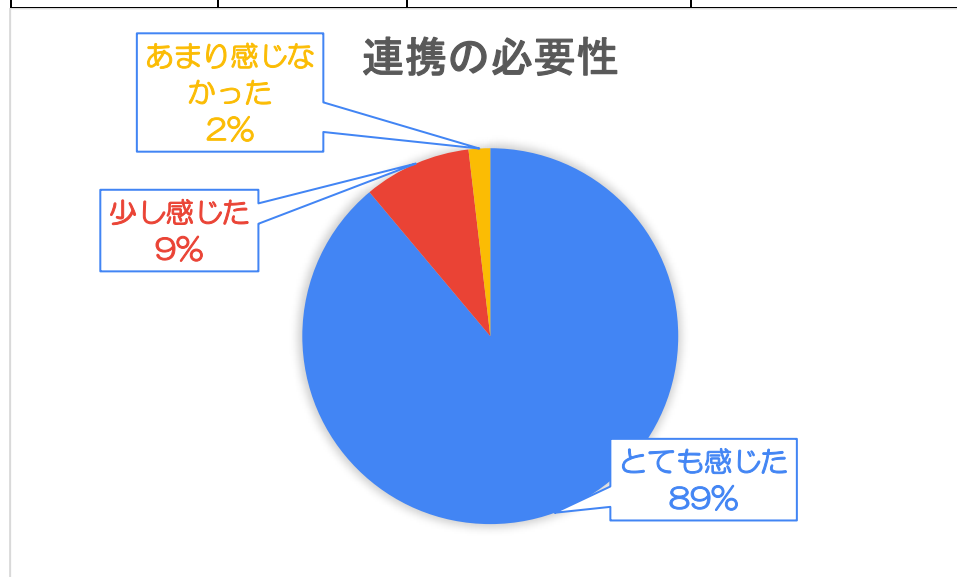


【主な回答の理由】

- ・小売店の方々の取り組みを知ることが出来た。前向きな取り組み姿勢を感じられた。
- ・他利用者の状況を知ることができた
- ・様々な事例や地域の取り組みを知ることができました。
- ・地域で発生している様々なトラブルについて知るとともに対応のヒントが得られた
- ・コンビニやスーパーの取り組みが理解できて良かった。
- ・若年性認知症対応センターの情報は大変参考になりました。
- ・認知症高齢者は少なからず、地域の日常の中にあり、当事者のみならず地域の課題であることを再認識しました。
- ・市内の高齢化率。小売店は地域により店がなく、買い物すら難しい方も多いと思う。市内全域の情報が知りたいと思いました。
- ・細かい部分まではわからない。しかし大体理解できたし、多職種が参加しているので参考になった。

3.地域で暮らす高齢者を支えるための地域の連携について必要性を感じましたか。

とても感じた	少し感じた	あまり感じなかった	ほとんど感じなかった	合計
48	5	1	0	54



【主な回答の理由】

- ・各小売店の方々が認知症の方々への理解を深めようとしている姿勢が伝わりました。
- ・認知症の方が増える中で、今後様々な問題が出てくると思うが、解決策が無いものが多いと思う。多くの方の協力、知恵が必要だと思う。
- ・高齢者等が地域で暮らしていくためには、地域の理解と連携がなければ暮らしにくい。横の繋がりが大事だと思います。
- ・介護者、サービス事業所だけではなく、地域の力も加わって支えていくことが大事
- ・認知症の方の生活を支えていくためには地域の方々の協力は欠かせないと思いました。
- ・周囲の支援により、在宅での生活を維持していける場合もあると感じました。
- ・行政だけでは把握できないことや、家族・小売店だけでは対応しきれないことも多々あり、お互いが情報共有することで、高齢者を支えていける地域を目指していけると思います。
- ・連携が難しいと思うため
- ・認知症で生活に影響が有る高齢者の問題は多くあり、地域でどこまで支えられるかと考える
- ・連携の必要性は感じますが、現在はどうのような連携をとっているのか、あらかじめ共通認識したうえで、今後どのように連携していったらいいかを話し合えるとよかったと思います。

4・5の回答は参考資料へ

6.高齢者の対応に苦慮した時の連携先を確認できましたか。

確認できた	だいたい確認できた	あまり確認できなかった	確認できなかった	合計
6	0	0	0	6

連絡先の確認



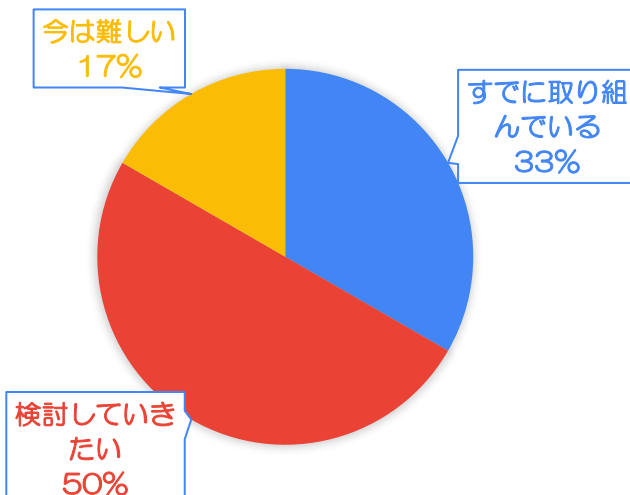
【回答理由】

- ・今までは、ご家族の方にご連絡したりやむを得ず警察の方に対応していただいたりしていましたが、包括センターを利用することにより、よりスムーズに状況を打破できるのではないかと思います。
- ・市内各加盟店さまには、店舗ごとに警察・消防や包括支援センター・市役所の窓口など、対象者に応じた連絡・相談先のリストを作成、配布済みです
- ・日野市内の支援センターを確認できました。
- ・連絡先確認済み。

7.市では認知症についてより理解するために、認知症サポーター養成講座を開催しています。貴社での開催は可能ですか。

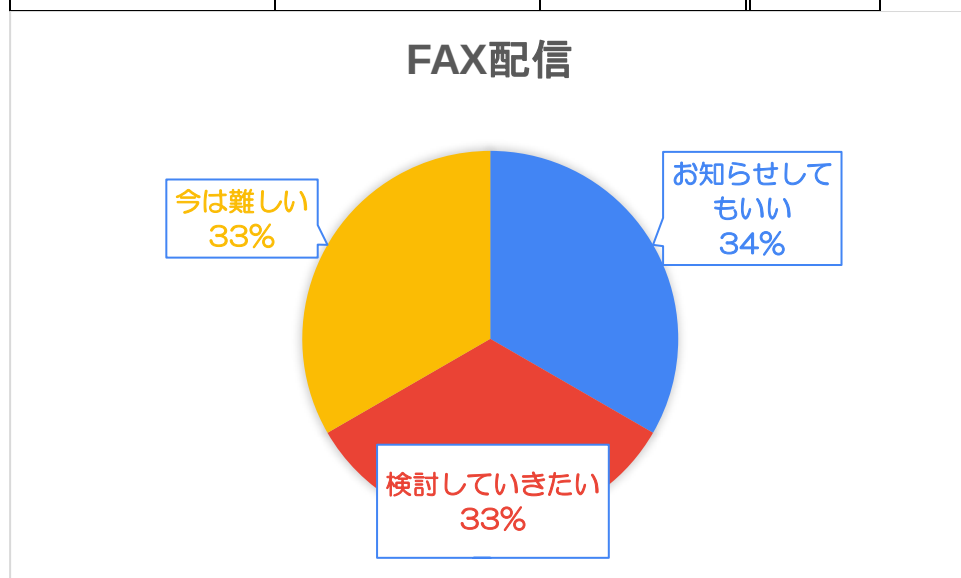
すでに取り組んでいる	検討していきたい	今は難しい	合計
2	3	1	6

認サポの開催



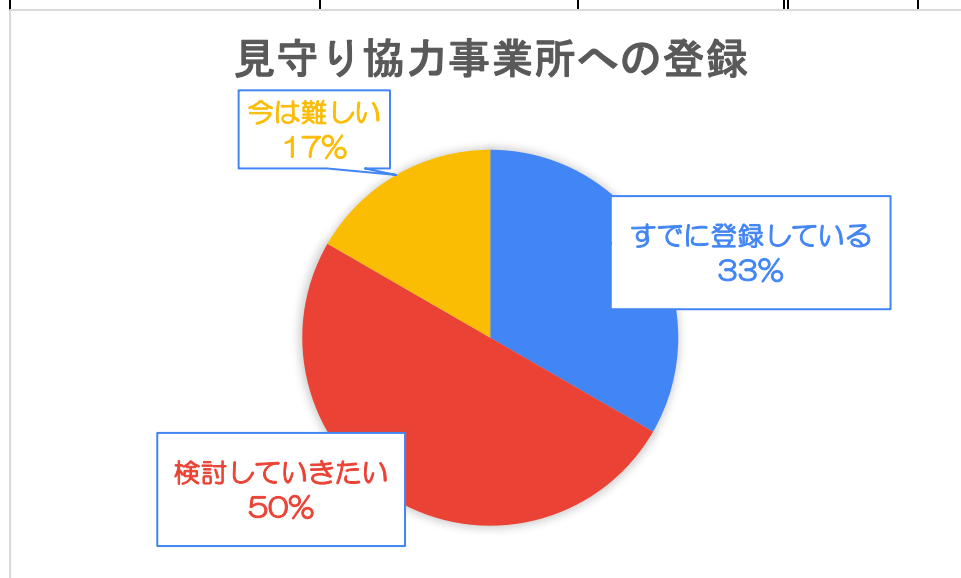
8.市では認知症高齢者が徘徊した場合に、行方不明者情報をFAXで配信しています。貴社へFAXで情報をお知らせしてもよろしいですか。

お知らせしてもいい	検討していきたい	今は難しい	合計
2	2	2	6



9.市では地域の様々な商店に対し、業務を通じて高齢者の問題や異変を早期に発見し、地域包括支援センターに連絡する「見守り協力事業所」の登録を推進しています。この機会に登録の検討は可能ですか。

すでに登録している	検討していきたい	今は難しい	合計
2	3	1	6



参考資料

●「2」の全回答理由

【よく理解できた】

- ・数値をもちいて説明して頂いたから。
- ・ファシリテーターの話が分かりやすかった。
- ・資料がみやすかったので一目瞭然でした
- ・小売店の方々の取り組みを知ることが出来た。前向きな取り組み姿勢を感じられた。
- ・他利用者の状況を知ることができた
- ・様々な事例や地域の取り組みを知ることができました。
- ・地域で発生している様々なトラブルについて知るとともに対応のヒントが得られた
- ・コンビニやスーパーの取り組みが理解できて良かった。
- ・日野市の高齢化率がよく分かった。平山2丁目の50%が気になります。
- ・高齢化率と比例して認知症高齢者も多いことを理解した。
- ・日野市の高齢化状況を知ることが出来た。
- ・高齢福祉課の方の作成された資料がわかりやすかった。
- ・他業種、他事業所様の話を聞き、今の現状について確認することができました。
- ・介護職以外の方々(地域の方)との交流や連携の有無があまり把握できなかったので、いい機会になった。
- ・買い物支援について様々な問題があることを共有できました。
- ・平山2丁目の高齢者率が高くて驚きました。
- ・高齢者の割合や今後どうなっていくかよく分かった
- ・包括センターや行政の支援体制が整っていることにとっても安心しました。今まで以上に店舗での対応も強化し困ったときは行政等に支援をお願いしながら、認知症や高齢者の方々にもあんしんして お買い物いただけるお店を目指します。
- ・認知症であってもご自宅で生活されている方がたくさんいるという点を 改めて確認できました。今後もその傾向は増すと思いますので、店頭での対応に引き続き活かしてまいりたいと思います。
- ・若年性認知症対応センターの情報は大変参考になりました。
- ・ケアマネの存在と支援センターの連携が必要だと理解できました。
- ・日野市における高齢者率の他、警察や小売店からの事例により問題点も具体的になって良かったです。
- ・小売店の高齢者対応や今後の連携の必要性がわかった
- ・小売店さんの対応がわかった。
- ・参加者の方の悩み事は同じだなあと思った。

【だいたい理解できた】

- ・小売店での認知症を理解する為の取り組みが多く聞かれた為
- ・施策等の現状は理解できたが、実態は個々の参加者の事例に限られており、日野市の認知症の現状が十分理解できたとは言いきれないのでは。そもそも主催者側も十分理解しているとは言えない、支援者である私も十分ではない。

- ・細かい部分まではわからない。しかし大体理解できたし、多職種が参加しているので参考になった。
 - ・日野市の認知症の現状を数値で分かる。
 - ・状況を幅広く知れたため
 - ・小売店の方の話が参考になりました。
 - ・説明があったので
 - ・高齢化率や市の施策が分かった
 - ・小売店の方々がたくさん力を尽くしていらっしゃる事がわかった。
 - ・中小一般小売業者さんが少なかったため
 - ・認知症高齢者は少なからず、地域の日常の中にあり、当事者のみならず地域の課題であることを再認識しました。
 - ・認知症高齢者全体の把握までは出来ないが、店舗などの取り組みに多少振れたので出来た
 - ・私が担当している利用者ではないが、認知症が原因で、買い物が困難になっている利用者がいるという現実が理解できた。
 - ・市内の高齢化率。小売店は地域により店がなく、買い物すら難しい方も多いと思う。市内全域の情報が知りたいと思いました。
 - ・高齢者はもとより若年層の就業先とのトラブル対応など注意点など
 - ・もともと知っているの。今回の説明だけではあまり理解できなかったかもしれません。
- 【あまり理解できなかった】
- ・リモートのためか、話をよく聞き取れませんでした。

●「3」の全回答理由

【とても感じた】

- ・認知症の方が住んでいる地域のサポートがとても力になるから。
- ・地域で認知症高齢者を支えていくために必要な連携と顔なじみになっていくこと。
- ・各小売店の方々が認知症の方々への理解を深めようとされている姿勢が伝わりました。
- ・認知症の方が増える中で、今後様々な問題が出てくると思うが、解決策が無いものが多いと思う。多くの方の協力、知恵が必要だと思う。
- ・高齢者等が地域で暮らしていくためには、地域の理解と連携がなければ暮らしにくい。横の繋がりが大事だと思います。
- ・介護者、サービス事業所だけではなく、地域の力も加わって支えていくことが大事
- ・認知症の方の生活を支えていくためには地域の方々の協力は欠かせないと思いました。
- ・認知症サポーターが増えれば優しい街になりそうです。
- ・小売店の方の話を聞き、連携することで大きなアクシデントを防げると気づかされました。
- ・スーパーやコンビニと情報共有ができれば認知症高齢者の困りごとが少しでも減らせると思うから。
- ・居宅で困難ケース支援時居宅ケアマネだけではなく地域（保険者、包括、一般の方や企業：小売店、コンビニ等）と連携することでケースの生活の安心が保たれるのでより強い連携（支えあい）は必要と思いました。

- ・独居や高齢者のみの世帯が増えており、認知症の方も多いが、本人に自覚がなかったり、不安ながらも外に困っていることを相談できなかったりする。遠くへは買い物に行けないが、近くのコンビニには毎日のように足を運ぶ。
- ・コンビニの店員さんが、高齢者の生活や認知症について理解して対応してくださったら心強いし、行政のサービスを使っていなかった人がサービスを利用できるきっかけになるかもしれない。
- ・小売店の方々の配慮や対応がありがたいと思いました。
- ・周囲の支援により、在宅での生活を維持していける場合もあると感じました。
- ・買い物支援一つとっても様々な対応が必要であると感じました。
- ・小売店の方々の支えあってこそだなあと痛感しました。
- ・地域で連携して取り組むことで防げる事件や事故がたくさんあると思った
- ・行政だけでは把握できないことや、家族・小売店だけでは対応しきれないことも多々あり、お互いが情報共有することで、高齢者を支えていける地域を目指していけると思います。
- ・市内各店の利用者は、おおむね徒歩や自転車で5分圏内の地域の方々が中心となっています。通常業務を通じた何気ない気づきが地域の安全・安心につながるよう、引続き取組んでまいりたいと思います。
- ・小売店での高齢者との関わりは多いので、理解できました。
- ・高齢者が高齢者を支えることには限界を感じています。民生委員や自治会にはいずれ限界が近くなるとわれ、他職種、多世代で支え合う地域を目指すべきだと考えます。
- ・その場の個人判断だけでの対応では難しいから
- ・認知症を含む高齢者のことで相互理解が必要であるため。
- ・支援者に見せる顔、友人や小売店に見せる顔は違う。そのため、連携することはとても大切だと感じます。
- ・高齢化がさらに進み、ほとんどの方が自宅で生活している現状である。いくらサービスが入っていても24時間見守ることは困難。
- ・情報は地域の方のほうに持っているし、知っている。上手にその情報を吸い上げて共有するのが大事だと思った。
- ・徘徊してしまったり、取る気持ちがなくても病気により会計をせずに出てしまったりした時に地域の方がその方を理解、把握してくださっていることで専門職につながるきっかけとなり地域での生活を続けるための力になると感じた為
- ・すごく大事なことで、このような場を設けられたことが第一歩だと思う。会をして終わりではなく、積極的に小売店や市民との連携を取っていくべきだと思う。各圏域でやるのがいいのではないかな。私自身も普段から顔の見える関係を作る努力をしたい。
- ・他職種の方と話し、共有する機会がなかったのがためになった。1つの事業所で支えるのではなく、地域で生活が続けられるように情報共有が大切と感じた。
- ・介護サービスだけでは支えきれない。
- ・地域社会で支えるしかない。
- ・いなげや栄町店さまに参加して頂きました。以前いなげやさんでは「とくしまる」だったか移動販売などを行ってくれていたと思います。買い物難民の方が多いのでとても助かります。ほか、高齢者の方向けに勉強会や色々な取り組みをして下さっているとのこと。

感謝感謝です。ありがとうございます。”

- ・周囲の関心や意識で、サポートすることができる
- ・ケアマネだけでは解決出来ないと考えるため
- ・地域で声をかけあって支えている例を経験しているため。
- ・地域の理解が必要
- ・（２）の回答であり、連携により適切な対応が可能となるため
- ・地域全体が高齢者にとっての暮らしの場所であるため、一事業所で高齢者の暮らしを支えることなどは困難であるため。
- ・高齢化率の高い地域では近所の方も認知症と気づきづらい。より幅広い連携が必要と思う。
- ・体力や認知力の低下とともに地域とのかかわりも減ってしまうことも多いので。地域で見守ることは必要と感じる。
- ・小売現場の店長とまずはお話してどのように連携していくかを検討する必要がある。
- ・地域の見守りや連絡体制が必要。

【少し感じた】

- ・必要性に応じて必要と思ったため
- ・利用者を見守る視線は多い方が良いと思うから
- ・連携が難しいと思うため
- ・認知症で生活に影響が有る高齢者の問題は多くあり、地域でどこまで支えられるかと考える

【あまり感じなかった】

- ・連携の必要性は感じますが、現在はどのような連携をとっているのか、あらかじめ共通認識したうえで、今後どのように連携していったらいいかを話し合えるとよかったと思います。

4.今後、研修や講演で取り上げて欲しい内容がありましたら、具体的にお書きください。

- ・IT を利用した見守りツールの最新事情や情報について
- ・市内の地域ごとの高齢化率の違いや特徴などがあれば詳しく知りたいです。
（特に高齢化が進んでいて買い物不便の問題などが発生しているエリアなど）
- ・小売と連携で成功事例のある地域の講演。
- ・サービス事業所を交えてのグループワークなど、ACP をどうすすめていくか。
- ・今回の様に顔の見える（わかる）関係づくりなどの研修。
- ・支援者のメンタルヘルス
- ・身寄りがない方、独居の認知症の方の支援について
- ・今回のようなインフォーマルサービスの活用方法について
- ・認定調査、対応が困難な方の事例
- ・個人情報の取扱いについて
- ・認知症家族の方、日々支えるのが大変だと思う。家族交流会の存在を知らせても介護が大変で時間がとれなかったり、「参加したところでどうなる」等言われ、参加に二の足をふまれていることもある。今回、小売店さんからの実情やご提案等聞けてよかったが、家族交流会や認知症カフェの方のお話も聞いてみたい。

・JR や京王、タクシー会社などの認知症高齢者への対応などについて今回と同じ内容で聞いてみたいのです。

- ・医療連携
- ・ケアローソン
- ・小売店で商工会など含む研修をしたい。
- ・金融機関との情報交換
- ・今回と同じ内容のものを年 1 回以上。小売店が講師でも良いと思う。
- ・障害分野の人の話も聞きたい。
- ・継続的にゆるやかにつながって行く事が必要と思います。
- ・ケアローソンのお話が聞きたかった
- ・この様な連携が必要な時の個人情報について
- ・3年後、5年後の日野市における介護保険の見通し、高齢化にともなう地域社会の変化予測、最悪を想定するとどうなるかなどを共有する研修など。例：人材不足による介護サービス、社会資源が不足し、適切なサービスが受けられなくなる。日野市の財源を予測、介護保険料の試算など
- ・癌末期などターミナルの高齢者の支援について。

5.研修の感想、その他ご意見をお聞かせください。

- ・個店で対応できるレベルの協力はさせていただきます。
- ・リモートでのワークは難しいと思いました。特にファシリテーターは大変だと思いました。メンバーの表情など、わかりづらいですね。
- ・介護とは直接関わらない方の意見を聞けてとても勉強になりました。
- ・グループワークがとても分かりやすかった。
- ・6 グループ発表者が長すぎ。タイマーをセットし、見ながら発表するべき。
- ・居宅のケアマネは高齢者の万引きが多いらしいという話をモニタリング時にするといいと思う。包括が、圏域にある小売店へのあいさつ回りをもっと強化したほうがいい。
- ・認知症の方に対する地域の支援について知ることができた
- ・いろんな方の意見が聞けて良かったです。
- ・他市から日野市に引っ越してこられた方が日野市民は優しいとおっしゃっていた理由を再確認できました。
- ・ファシリテーターの進行がスムーズで有意義なグループワークとなりました。ありがとうございました。
- ・前回の研修時にはなかったセルフレジのことなど新たな課題の発見が研修を受けて理解できた。研修を受けてよかったと思う。
- ・ケアマネは担当ケースについて抱え込みがちとなる。保険者、包括について相談した際は色々と連携の仕方を並走して頂きたい。また地域連携についてもご教授頂ければ助かります。
- ・多方面からの話を興味深く拝聴させていただきました。ありがとうございました。
- ・グループワークで一人の方が長く話すと全体の時間が無くなるので、時間配分を考えた発表が大切だと感じました。進行の中で焦点が何なのか不明な場面がありました。個人の質問のやり取

りが多すぎました。ファシリテーターは毎回包括スタッフとのルールがあるのですか？

- ・引き続き、多職種連携研修に参加したいと思います。
- ・今回警察署の方、若年性認知症総合支援センター、小売店の方の意見が聞けてとても勉強になりました。若年性の支援センターがあることを知らなかったので勉強になりました。
- ・同じグループの皆様には真摯にお話頂き感謝しております。また、研修の準備を頂きました担当の方々にもお礼申し上げます。
- ・それぞれの対応がわかって面白かった。
- ・小売店の取り組み、関わりを知れ参考になりました。
- ・多くの方に参加いただき、大変有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・地域の中の取り組みや地域の専門職をお互いに知って頂くことでお互いに連絡をするハードルが下がり情報共有がしやすくなるきっかけになったのではないかと感じました。地域での状況が見えてくることで高齢者がより住みやすい日野市になっていくのかなと思いました。大変貴重な機会を頂きありがとうございました。
- ・オンラインで参加できたのが良かった。最後のまとめでもっと小売店の話を聞きたかった。各グループワークの発表が長い。
- ・小売店の方の話が聞けて良かった。
- ・認知症の方だけでなく、今後地域全体で高齢者を支えることの大切さを確認できました。
- ・介護業界以外の業種の方々のお話を今後も聞いてみたいです。
- ・小売店の方の生の声が聞けたこと、自分の経験したことのないようなケース、対応を知ることができ、よかったです。
- ・市内小売店舗の方が多く参加されていたようなので、他のグループに参加された店舗の対応や考え方などを具体的にお聞き出来なかったのが残念でした。
- ・小売店の困惑、誰かついて来て欲しいという思いを実感
- ・地域との連携で一番大事なのは、情報の共有だとおもいました。ネットワークを構築するなどの対策ももちろん必要ですが、認知症高齢者に関わる当時者のみならず、今は関わりがない地域の方々にもどうやって知ってもらうのかなのかもしれないと思いました。
- ・今後認知症高齢者は増加していくため、ますます地域の連携というものが必要になってくると感じた。
- ・グループワークは小売店の方メインになってしまい、進行について考えてほしかった。論点が連れていたように感じる。個人のやり取りになり、グループワークではなかった。グループ分けの時は地域ごとに組むなど工夫してもらえると、より小売店との連携ができるのではないかと思います。
- ・オンライン参加、ファシリをいたしました。
- ・グループワーク以外は全体的に早口で駆け足で、そのためかやや内容が入ってきませんでした。市、来島さん、日野警察の話はどれも大事な話だったため、とてももったいないように思いました。
- ・グループワークの際、事務局へチャットしましたが返信がなく、ヘルプコマンドは分かりませんでしたので使えませんでした。最後の発表はファシリではなく、感想含め参加者の方をお願いしてもよいのではないのでしょうか？名簿はありますが、特にオンラインですとどんな方が出席し

ているのかよくわかりません。

・グループワークの内容は大変参考になりましたが、時間があまりなかったので小売店さん以外は各1回ずつしか発言を回せませんでした。オンラインは1グループの人数をもう少し減らしてもよいように思います。

・非常に勉強になりました。

・勉強になりました。

・他業種の方と話ができて良かった

・店舗の責任者さんが参加され、有意義だったと思います。ありがとうございました。

会 議	日野警察署との高齢者虐待に関する連絡会
日 時	令和 3 年 8 月 20 日（木）
場 所	福祉支援センター 第一会議室
人 数	26 名（高齢福祉課 5 名、包括 20 名、日野警察 1 名）

○アンケート

・配布 26/回収 14（回答率 53.8%）

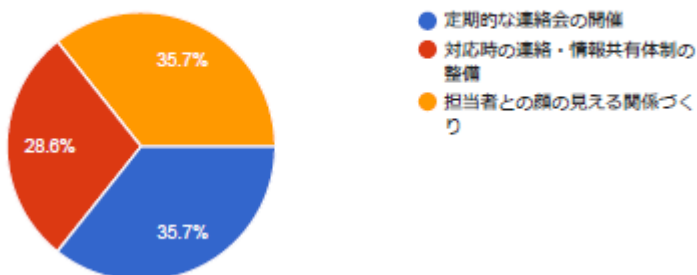
1-1 連絡会を通して、包括・警察間の連携が深まったと感じますか

14 件の回答



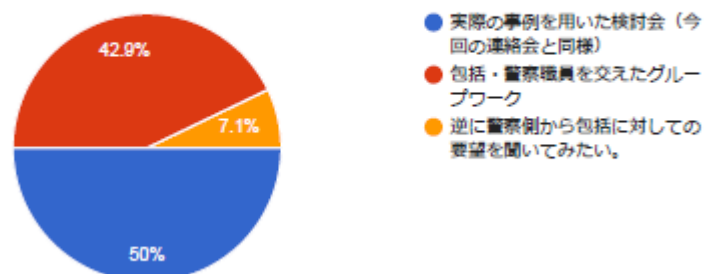
2 今後さらに包括・警察間の連携を深めるために何が必要だと感じますか

14 件の回答



3 今後の連絡会で取り上げてほしい内容をお書きください

14 件の回答



(2) 認知症家族介護者交流会実施実績

	開催日	参加人数	参加人数 (内訳) 家族→家 オブザーバー→オ	内 容
【たかはた圏域】 (6回)				
1	5/19 (水)	3	家: 3名 オ: 0名	懇談会
2	7/21 (水)	6	家: 4名 オ: 2名	懇談会
3	9/15 (水)	6	家: 7名 オ: 1名	懇談会
4	11/24 (水)	11	家: 8名 オ: 3名	懇談会
5	1/12 (水)	10	家: 6名 オ: 4名	懇談会
6	3/23 (水)	9	家: 6名 オ: 3名	懇談会
【ひの圏域】 (6回)				
1	4/15 (木)	7	家: 7名 オ: 0名	懇談会
2	6/17 (木)	10	家: 10名 オ: 0名	懇談会
3	8/19 (木)	7	家: 3名 オ: 4名	懇談会
4	10/21 (木)	8	家: 3名 オ: 5名	懇談会
5	12/16 (木)	7	家: 7名 オ: 0名	懇談会
6	2/17 (木)	7	家: 4名 オ: 3名	懇談会
【とよだ圏域】 (12回)				
1	4/9 (金)	7	家: 4名 オ: 2名	懇談会
2	5/14 (金)	5	家: 4名 オ: 1名	懇談会
3	6/11 (金)	6	家: 4名 オ: 2名	懇談会
4	7/9 (金)	5	家: 4名 オ: 1名	懇談会
5	8/13 (金)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
6	9/10 (金)	7	家: 6名 オ: 1名	懇談会
7	10/8 (金)	7	家: 6名 オ: 1名	懇談会
8	11/12 (金)	7	家: 7名 オ: 0名	懇談会
9	12/10 (金)	4	家: 4名 オ: 0名	懇談会
10	1/14 (金)	5	家: 5名 オ: 0名	懇談会
11	2/18 (金)	7	家: 6名 オ: 1名	懇談会
12	3/11 (金)	7	家: 6名 オ: 1名	懇談会
【ひらやま圏域】 (12回)				
1	4/21 (水)	5	家: 4名 オ: 1名	懇談会
2	5/20 (木)	3	家: 2名 オ: 1名	懇談会
3	6/30 (水)	1	家: 0名 オ: 1名	懇談会
4	7/15 (木)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
5	8/19 (木)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
6	9/16 (木)	2	家: 1名 オ: 1名	懇談会
7	10/20 (水)	2	家: 5名 オ: 1名	懇談会
8	11/18 (木)	5	家: 2名 オ: 3名	懇談会
9	12/15 (水)	6	家: 4名 オ: 2名	懇談会
10	1/20 (木)	4	家: 1名 オ: 3名	懇談会
11	2/16 (水)	7	家: 4名 オ: 3名	懇談会
12	3/17 (木)	4	家: 3名 オ: 1名	懇談会

(3) 日野市の虐待受付状況

養護者による虐待(単位：件・人)

相談・通報受理件数 (受理件数の内、夫婦件数)		23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	R1 年 度	R2 年 度	R3 年 度
		24 (2)	30 (1)	19 (1)	40 (1)	42 (2)	41 (3)	49 (0)	57 (1)	38 (1)	49 (1)	40 (0)
当該年度以前からの継続対応件数						14 (0)	24 (2)	20 (2)	31 (1)	28	30	32
虐待認定件数		24 (2)	30 (1)	19 (1)	26 (0)	32 (2)	28 (3)	35 (0)	44 (1)	36 (1)	36 (1)	35 (0)
虐待の 種別・ 類型 (重複 有)	身体的虐待	18	19	10	17	20	15	20	30	24	21	18
	介護・世話の放棄、 放任	7	6	5	4	5	5	7	3	3	8	7
	心理的虐待	15	8	3	11	13	15	16	25	18	17	13
	性的虐待								0	0	1	1
	経済的虐待	7	6	7	7	10	5	7	5	5	5	5
	セルフネグレクト					1	1		2	4	1	0
高齢者 性別	男 性	6	8	2	4	12	9	5	12	13	7	9
	女 性	20	23	18	22	22	22	30	33	24	30	26
	合 計	26	31	20	26	34	31	35	45	37	37	35
高齢者 の年齢	64歳以下	1			1				1	0	0	0
	65～69歳	3	1			2	3	3	8	2	4	3
	70～74歳	5	4	5	3	4	5	5	3	8	5	6
	75～79歳	4	4	5	7	6	4	12	8	10	8	5
	80～84歳	6	12	8	5	13	9	12	11	9	11	8
	85～89歳	4	4	1	6	8	8	2	10	3	4	6
	90歳以上	3	6	1	4	1	2	1	4	5	5	7
	合 計	26	31	20	26	34	31	35	45	37	37	35
高齢者 から見た養護 者の続柄 (重複 有)	夫	7	5	6	5	7	5	16	12	9	13	9
	妻	3	4		2	1	2	3	2	3	3	3
	息子	7	13	9	10	13	13	9	15	13	16	12
	娘	4	7	3	4	8	11	6	9	4	4	6
	息子の配偶者(嫁)	1		1					0	0	0	0
	娘の配偶者(婿 内 縁を含む)								0	0	0	1
	兄弟姉妹				1	1		1	0	0	0	0
	孫	2	1		2	1			2	1	0	1
	その他								4	3	3	3
	不明(特定できず)				2	3			0	0	0	0
事実確認中									3	2	5	4

施設従事者による虐待(単位：件・人)

相談・通報受理件数		23 年 度	24 年 度	25 年 度	26 年 度	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	R1 年 度	R2 年 度	R3 年 度
				3	3	4	6	10	3	2	1	2
虐待認定件数				3	2	2	1	6		0	1	0
業種別	居宅介護支援事業所											1
	訪問介護			1		1	1					
	通所介護					1		1		1		
	特別養護老人ホーム			1	1			4				
	ショートステイ											
	介護老人保険施設				1							
	小規模多機能			1						1		
	グループホーム										1	
	特定施設							1				1
虐待の種類・類型 (重複有)	身体的虐待			1	1			3				
	介護・世話の放棄、放任							3				
	心理的虐待				2	1		2			1	
	性的虐待					1						
	経済的虐待			2			1	1				
事実確認中									3			

（４）日野市の徘徊対応状況

１）年度別

SOS ネットワーク事前登録者数及びメール配信登録者数（推計）

（単位：人）

	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	R1年度末	R2年度末	R3年度末
事前登録者数	129	167	195	237	277	202	295	340	350	350	356
メール配信登録者数（推計）	5,850件	5,910件	5,853件	6,836件	7,630件	8,638件	10,624件	1,686件	1770件	1890件	1956件

徘徊対応状況

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
徘徊者数(実人数)	人数	35	42	30	24	36	41	49	56	40	20	13	
	性別	男性	16	19	12	15	11	19	20	22	15	11	5
		女性	19	23	18	9	25	22	29	34	25	9	8
	年齢	～69歳	6	1	1	3	2	1	2	4	0	0	0
		70～74歳	4	3	4	1	6	5	5	11	2	2	0
		75～79歳	10	19	10	10	10	8	12	9	11	7	3
		80～84歳	13	11	6	5	12	17	13	13	15	4	5
		85歳以上	2	8	9	5	6	10	17	19	12	7	5
延べ徘徊発生数	発生件数	52	50	41	32	45	49	68	85	56	30	16	
	警察へ通報	38	30	34	26	29	37	51	50	40	19	12	
	Eメール利用	10	9	16	15	12	18	25	22	23	10	7	
	防災無線利用	1	3	0	1	0	2	2	0	1	0	0	
発見数	合計	52	50	41	32	45	49	68	85	56	25	15	
	1時間以内	19	13	4	8	12	6	19	15	6	2	1	
	3時間以内	13	13	9	3	10	17	19	20	17	10	5	
	6時間以内	8	6	7	7	4	6	17	23	5	6	3	
	12時間以内	3	3	6	6	8	8	4	3	3	2	2	
	24時間以内	2	6	10	2	3	4	4	4	5	0	0	
	24時間以上	2	3	2	1	2	1	1	3	3	2	1	
	不明	5	6	3	5	6	7	4	17	17	3	3	
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

２）地域包括支援センター別（令和３年度）

（単位：人）

		もぐさ	あさかわ	すてっふ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいきタウン	すずらん	かわきた	計
徘徊者数(実人数)		0	0	0	1	2	0	0	8	2	13
性別	男性	0	0	0	1	0	0	0	4	0	5
	女性	0	0	0	0	2	0	0	4	2	8
年齢	～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	75～79歳	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
	80～84歳	0	0	0	1	0	0	0	3	1	5
	85歳以上	0	0	0	0	1	0	0	3	1	5
延べ徘徊発生数		0	0	0	1	4	0	0	8	3	16
	警察へ通報	0	0	0	1	3	0	0	5	3	12
	Eメール利用	0	0	0	1	3	0	0	1	2	7
	防災無線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発見数		0	0	0	1	3	0	0	8	3	15
	1時間以内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	3時間以内	0	0	0	0	2	0	0	3	0	5
	6時間以内	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3
	12時間以内	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	24時間以内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24時間以上	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	不明	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 認知症支援・虐待防止事業の取組み状況

	取組み	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3
認知症高齢者支援	①認知症家族介護者交流会（専門相談会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③認知症サポーターステップアップ講座			○	○	○	○	○	○	○
	④高齢者SOSネットワーク構築に向けた取組み		○	○	○	○	○	○	○	○
	⑤認知症予防啓発パンフレット		○	○	○					
	⑥認知症地域資源マップの作成	○	○	○	○	○				
	⑦認知症家族介護者支援講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑧認知症啓発講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑨多職種連携研修 ³	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑩関係機関連絡会	○								
	⑪認知症高齢者支援・高齢者虐待防止推進会議 ⁴	○	○	○				○	○	○
	⑫認知症対策推進会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	⑬認知症ケアパスの作成			○	○	○			○	○
	⑭認知症の早期発見・治療の仕組みづくりの検討			○	○	○	○	○	○	○
高齢者虐待防止対策	①高齢者虐待防止勉強会		○	○						
	②虐待防止啓発	○	○	○		○	○	○	○	○
	③高齢者虐待に関する啓発パンフレットの作成	○		○				○	○	○
	④日野市高齢者虐待対応・防止マニュアルの作成等	○	○	○		○	○	○	○	○
	⑤日野警察署との虐待事案連絡会						○	○	○	○

³ H25 までは介護サービス従事者研修として実施。

⁴ H27 より認知症対策推進会議に名称・役割とも変更。

(6) 認知症を知る月間の広報物

(ポスター)

令和3年度
日野市
認知症高齢者
支援事業

第8回 日野市

認知症を 9 知る月間

わたしたちの行動で地域の輪を創ろう!

9/26 日
TreeHALL
(多摩市 3・1・1・2F)
オンライン
並行開催!

Pick up

特別講演 岩佐 まり
若年性認知症の母と生きる
～大切な人が認知症になったら
あなたはどうか?～

55歳で物忘れが始まった母親が、
認知症と診断され、戸惑いながらも
認知症介護に向き合う娘。
母と娘の愛の溢れる介護生活を
お届けいたします。
たとえばポケでも母は母。
大好きな母。

その他今年も
認知症を知る・
考えるイベント
各種あり

岩佐 まり プロフィール

【主催】日野市、【主幹】公益財団法人社会福祉推進多岐の社会福祉センター
【協賛】日野市医師会、日野市歯科医師会、日野市薬剤師会
【協力】日野市福祉交流センター、多摩市福祉交流センター、若年性認知症支援「若年性」日野市社会福祉協議会、ひのきアミオ協議会、
日野市グループホーム、日野市介護多機能ホーム、日野市認知症支援センター

電話 **申込み期間 9/1~9/15** **FAX 送信**

042-582-3136 042-581-0647

ひの社会教育センター

オレンジフェス2021申込書

講演とパネルディスカッションで学ぶ、考える認知症

会場参加専用。オンライン視聴の申し込みは不要です

イベントへの会場参加希望は電話かFAXで受けております。※要券をお預渡さないようにご注意ください。

記入見本

記入欄

ふりがな	ひの はなこ	電話 番号	042-585-0000
氏 名	日野 花子	電話受付中 受付終了 講演希望 □1部 □2部 □車いす利用あり □手話必要	

講演希望

□1部 □2部

□車いす利用あり □手話必要

参加希望者記入欄

記入欄

ふりがな		電話 番号	
氏 名		講演希望 □1部 □2部 □車いす利用あり □手話必要	

講演希望

□1部 □2部

□車いす利用あり □手話必要

※どちらかのみ参加も可能です

会場アクセス

TreeHALL (Tomorrow PLAZA 2階)

JR中央線 豊原駅北口徒歩10分、
市立病院バス徒歩1分



※車庫には限りがございます。なるべく公共の交通機関でお越しください



偉人で応援！「認知症を知る月間」

認知症を知る月間のテーマカラーはオレンジです。
着飾ってオレンジの服を着けよう！そして、
みんなで認知症へ関心を向けよう！








【主催】日野市 【主賛】ひの社会教育センター

【後援】日野市医師会、日野市福祉会、三野市医師会

【協力】市内の認知症支援センター、東京近畿老年福祉協議会認知症支援センター、東京近畿認知症支援会「夢教室」、日野市社会福祉協議会、ひのケア・プラザ、市内の介護施設、市内の介護福祉会、市内の介護福祉会

●お問い合わせ

ひの社会教育センター

電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647 E-Mail: center@hino-shaiku.or.jp

TRANSFORMING OUR WORLD

SDGs IN ACTION HINO

第8回 日野市

認知症を 知る月間 9月

わたしたちの行動で地域の輪を創ろう!

令和3年度
日野市
認知症高齢者
支援事業

Pick up

9 26日

TreeHALL
(新座中央・1・2F)

**オンライン
並行開催!**

**特別
講演**

岩佐 まり

若年性認知症の母と生きる

～大切な人が認知症になったらあなたはどうする?～

55歳で物忘れが始まった母親が、
認知症と診断され、戸惑いながらも
認知症介護に向き合う娘。
母と娘の愛の溢れる介護生活を
お届けいたします。

たとえボケても母は母。
大好きな母。

岩佐 まり プロフィール
大塚国際学院大学心理学部心理学科卒業。結婚後、夫より早く認知症を発症し、認知症ケアについて学びたいと考え、福祉系専門学校へ入学。その後、社会福祉士として活動中。現在、認知症ケアに関わるボランティア活動や、認知症に関する啓発活動に取り組んでいる。



その他今年も認知症を知る・考えるイベント各種あり 詳細は中面へ→

(リーフレット 中)

「認知症を知る月間」イベントのご案内

イベントはすべて無料です。
緊急事態宣言発生時除くイベント情報は
日野市ホームページをご覧ください

オレンジフェス2021

講演とパネルディスカッションで学ぶ、考える認知症

9/26

第一部 10:30～12:00(開場10:00) 第二部 13:30～15:00(開場13:00)

一部・二部どちらからの参加も可能です。

会場に参加する！

会場 TreeHALL(多摩駅3-1-1 TomorrowFLAZA2F)

定員 会場50名 ※会場参加希望の方は事前申し込みが必要です(要返信)

オンラインで参加→

Zoom(オンライン会議アプリ)

第一部 10:30～12:00(開場10:00) 第二部 13:30～15:00(開場13:00)

ZOOM ID 826 1516 7599

パスワード dementia

アクセスQR

新年度認知症の母と生きる
～大切な人が認知症になったらあなたは？～

15歳で物忘れが始まった母親が、認知症と診断され、戸惑いながらも認知症介護に向き合う様。母と娘の愛の溢れる介護生活をお届けいたします。
たとえ父でも母は母、大好きな母。

第二部 「認知症は特別なものではない」を知るディスカッション

2025年、65歳以上の5人に1人は認知症発症者になると推定されています。公的サービスの利用に頼ることはやむを得ない世の中になり、認知症は今後、より身近な存在になっていくことでしょう。
誰もがなる可能性のある認知症。自分がいつ認知症になっても誰か好きな町で暮らしていけるようにできること、今から考えて準備していきませんか？
専門家や経験者と一緒に学びましょう。

ディスカッション登場予定者

医師 家族介護経験者 認知症の支援者 認知症を働く人

時間 **13:30～15:00**

会場に参加予定の方へ ※事前申し込みが必要(要返信)

感染予防のため、下記参加基準をお守りください。

新型コロナウイルス流行下におけるイベント参加基準

- 過去14日以内に利根川の感染症状がない
- 過去14日以内に密接した新たな体調不良者がいない
- 過去14日以内に家族または接触者に新型コロナウイルス陽性者がいない
- 体温37.5℃以上の発熱がなく、あらゆる感染症状もない

会場参加時はマスクの着用をお願いします。
また、会場への入室時には検温・消毒にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症によりイベントはオンラインでの開催になる場合があります。

その他各種イベント

9月公開 RUNten+の2021バトンリレー動画配信

認知症の早期発見、支援者などの関係者一しめながら活動を広げ、ゴールを目指しています。今年は新型コロナウイルス感染症により、みんなが集まることができなくなりました。
それでも「地域全体で認知症の方を支えたい」というみんなの思いをつなげた動画を制作しました。ぜひご覧ください。

【主催】RUNten+の実行委員会
【問合せ先】Mail : since2017.run@nara.or.jp / TEL : 090-6525-2773 URL http://runteno.org/

●認知症サポーター養成講座

●認知症サポーター ステップアップ講座

詳しくは各地区の地域包括支援センターにお問い合わせください！

●認知症についてのパネル展示

日程・会場	内容
9/1(水)～9/29(火)	市役所1階
9/2(木)	イオンモール2F中央ファジィ
9/3(金)～9/30(木)	イオンモール3Fファミリア前

●図書館で関連書籍の紹介

図書館の司書が選ぶ、認知症関連書籍を紹介する特別コーナーが設置されます。
ぜひこの機会に足を運んでみてくださいね！

日程・会場 9/1(水)～9/30(木)
●図書館(市役所1階) ●多摩図書館(日野市中央東2-8) ●西原図書館(日野市北204-1) ●山田図書館(日野市千代15-18-2)

(啓発グッズ ウェットティッシュ)

「日野市第8回認知症を知る月間ポスター」デザイン起用

さらっとウェットティッシュ 10枚



高齢福祉課 地域包括支援センター

多摩若年性認知症総合支援センター 多摩平の森の病院

七生病院 イオンモール多摩平の森

(デジタルサイネージ)

・イオンモールフードコート内 9/1～9/26



・日野市役所エレベーター横 9/1～9/30



(日野市ホームページバナー 8月中旬～下旬に公開)



(車用マグネット 9/1～9/30)



(青少年向け啓発チラシ)

小学生 4,718 人 中学生 4,265 人 計 8,983 人に配布

(添付画像は小学生向け)



(7) 認知症サポーター養成講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	7月9日	指定居宅介護支援事業所カメリア	10	多摩川苑・せせらぎ
2	7月19日	日野市役所	27	もぐさ
3	7月20日	ひらやま圏域家族介護者交流会	5	いきいきタウン・すずらん・かわきた
4	7月20日	日野市役所	30	いきいきタウン
5	7月27日	日野市職員	31	あいりん
6	8月2日	日野市役所	21	すずらん
7	8月24日	一般市民向け	1	もぐさ
8	8月31日	一般市民向け	2	せせらぎ・多摩川苑
9	9月7日	日野市商工会青年部会	8	あいりん
10	9月21日	第四中学校 1学年	213	かわきた・すてっぷ
11	9月21日	一般公募型	11	もぐさ
12	9月23日	一般市民向け	10	あさかわ
13	10月19日	一般公募型	8	あいりん・すてっぷ
14	10月20日	一般公募型	6	すずらん
15	10月22日	一般公募型	7	あいりん・すてっぷ
16	10月26日	一般公募型	3	あいりん・すてっぷ
17	10月28日	日野市第5小学校	137	すてっぷ、あいりん
18	10月29日	一般公募型	3	あいりん・すてっぷ
19	10月31日	一般市民向け	7	かわきた
20	11月2日	仲田小学校	82	多摩川苑・せせらぎ
21	11月4日	一般公募型	8	いきいきタウン
22	11月10日	都立日野高校3年5組	35	多摩川苑
23	11月10日	都立日野高校3年3組	38	もぐさ
24	11月12日	都立日野高校3年7組	35	せせらぎ
25	11月12日	都立日野高校3年4組	38	かわきた
26	11月15日	都立日野高校3年6組	34	すずらん
27	11月15日	都立日野高校3年2組	37	あさかわ
28	11月17日	都立日野高校3年8組	35	いきいきタウン
29	11月18日	都立日野高校3年1組	37	多摩川苑
30	11月25日	実践女子大	29	あいりん
31	11月29日	一般市民向け	2	あさかわ

32	12月8日	明星大学 1年生	46	あさかわ
33	12月13日	明星大学 2年生	60	すずらん
34	12月22日	実践女子大	32	あいりん
35	1月12日	一般公募型	3	すずらん
36	1月14日	一般市民向け	15	あさかわ
37	1月21日	百草団地ふれあいサロン	18	もぐさ
38	2月15日	日野自動車	27	せせらぎ
39	3月16日	一般市民向け	4	すてっぷ、あいりん
40	3月16日	デイサービスあすなろ職員	6	もぐさ
計			1,161	名

◆延べ受講者数（平成18年度～）：20,574人

(8) 認知症サポーターステップアップ講座 開催実績

	実施日	対象者詳細	受講者数	包括名
1	7月9日	指定居宅介護支援事業所カメリア	10	多摩川苑・せせらぎ
2	7月14日	明星大学人文学部福祉実践科 山井ゼミ	9	あさかわ・すずらん
3	10月19日	一般公募型	6	あいりん・すてっぴ
4	10月19日	一般公募型	6	もぐさ
5	10月22日	一般公募型	5	あいりん・すてっぴ
6	10月26日	一般公募型	3	あいりん・すてっぴ
7	10月27日	一般公募	7	すずらん
8	10月29日	一般公募型	5	あいりん・すてっぴ
9	11月11日	一般公募	9	いきいきタウン
10	1月21日	一般公募	10	あさかわ
11	1月21日	ひらやま圏域家族介護者交流会	2	いきいき・かわきた・ すずらん
12	2月16日	日野圏域ケアマネジャー	14	多摩川苑・せせらぎ
13	2月18日	一般市民	13	もぐさ
14	3月1日	相談協力員・見守り推進員	10	かわきた
計			109	名

◆延べ受講者数（平成27年度～）：1,165人

令和 3 年度認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

発行年月 令和 4 年 3 月

企 画 日野市健康福祉部高齢福祉課
〒191-8686 東京都日野市神明一丁目 12 番地の 1
電話 042-514-8496（直通）